

お取引様各位

FUJI FINE

フジファイン株式会社

取締役 佐藤 秀昭

栃木県宇都宮市問屋町 3426-22



次亜塩素酸水に関する・安全性についての弊社の見解

拝啓 平素は弊社製品を取扱いいただき誠にありがとうございます。

この度、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)経済産業局、各報道機関より発表及び報道がありました。弊社の見解と方針を以下の通り、ご案内申し上げます。

- ① 現在、国内で販売されている製品には、次亜塩素酸水 次亜塩素酸ナトリウムがありますが、次亜塩素酸水と次亜塩素酸ナトリウムは、まったく違う製品となります。名前が似ている為、混同されてしまいがちなので御注意ください。
- ② そもそも、今回公表されました電解次亜塩素酸水と弊社取扱の炭酸次亜塩素酸水は同じものではありません。
- ③ 弊社の炭酸次亜塩素酸水は、原料に対し食塩及び塩酸を使用しておらず二酸化炭素(炭酸ガス)による溶液であり電解方式ではありません、その為、塩酸が全く含まれておりません。
今回、追加にて次亜塩素酸水は電気解放以外でも生成したのもも対象となりました。
(添付資料 3 3)
- ④ 弊社の炭酸次亜塩素酸水は、原料に次亜塩素ナトリウムを使用しているため、厚生労働省規格でもある微酸次亜塩素酸水の数値に従い製造しており(製造時) ph5.0~5.2 以内 80ppm と人体に害のない ph 値及び ppm 値で製造しております。
また、製品の性能が変化してしまう恐れがある為、水による希釈しての使用は原則不可になります。そのため使用期間が開封後 3 か月間となっております。
今回の対象物資(2) 資料 3 でも入っております。

- ⑤ 加湿器使用において害があるとの点において弊社での確認では次亜塩素ナトリウム（材料の原液及び希釈したもの）を噴霧することが人体に大きな影響があるとの表現と解釈しております。

現在 消毒液や消毒と記載できるのは次亜塩素ナトリウム（材料及び希釈したもの）であり次亜塩素酸水は記載出来ない法律となっております。 次亜塩素酸ナトリウム（原液及び希釈したもの）での希釈噴霧は大変危険であり、害がある事は確かだと思われま

す。

- ⑥ 空間噴霧に対してですが、除菌効果は現在確認がとれておりません。（検証方法が確立されていない）

しかしながら、弊社では、空間噴霧した際に、家具や床・壁などにあたり炭酸次亜塩素酸水と接触・反応した際に、除菌・消臭すると考えております。

現時点加湿器での空間噴霧での使用に不安がある場合はご利用をお控え頂きたく存じます。

（現時点で NITE 等の検査機関では、噴霧実験は行われておらず次亜塩素酸水の噴霧は有効ではないとも一切報告されておりません）

※記事では噴霧が否定されるような印象を受けていますが、しかしながら日本国内の大学などの研究機関において次亜塩素酸水の研究が行われており効果や安全性は認められております。（株式会社星光技研 添付資料）

ついでながら、弊社では、5年前よりご購入頂いております各ユーザー様が加湿器での空間噴霧で使用されておりますが、人体における悪影響は一切発生と報告はありません（炭酸次亜塩素酸水でのご利用での場合です。）

この度の次亜塩素酸水における誤解を招きかねない報道に対し、弊社では、現在の製品でも報道されているような使用上における重大な問題等は、発生しないと考えておりますが、更なる安全性の確立と更なる製品向上の為に、新たに検査項目を増やし製品試験を開始いたします。

実施予定の試験内容は以下の通りです。

【第三者機関 一般財団法人 日本食品分析センターにて依頼済】

ウイルス不活化試験 殺菌効果試験 脱臭効果試験 毒性試験
皮膚一次刺激試験(ヒトの培養肌モデル) 眼刺激性試験(ヒトの培養角膜モデル)

【自社試験にて 2020 年 6 月下旬より予定】

拭き取り雑菌試験 液対耐久試験 光及び紫外線劣化試験 温度劣化試験

上記の検査にて、製品の安全性及び性能の向上に努めてまいります。

最後に、色々な報道があり混乱されているかと存じますが、今回のメディア等の報道は、様々な次亜塩素酸水及び次亜塩素ナトリウムを混同してしまっていて、全く効かない又は人体に害がある等と誤解されて報道されている場面が多々あります。

各検査機関は一定の pH 値及び ppm 値を守った次亜塩素酸水は有効性がないとの発表はしておりません。

再度ご確認とご理解の程を何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具